

季節の変わり目

全国で体温ほどの猛暑日が連日続いた8月が終わり、9月に入りました。今朝の新聞では、8月の全国の平均気温は戦後最高を記録する見込みとの報道がありました。どおりで今年は特別暑い夏だったのですね。

高山でも、記録的長雨で災害に見舞われた7月から一転、8月からは晴天の真夏日が続きました。今年はコロナの影響で、地域の花火大会や夏祭りもほとんどが中止となり、小中学校の夏休みは8月上旬の2週間だけで終了、授業が盆過ぎから再開されています。子どもたちは教室の窓から晴天が続く夏空をうらめしく眺めていたのではないのでしょうか。

さて、コロナの関係では、第二波感染拡大を受け、県から7月31日に出された「第二波非常事態」が今も継続しています。お盆休み期間、新幹線の利用が3割程度にとどまるなど今年は帰省や旅行を控えた方が多く、ここへきて県内の発生者数もゼロの日が続くなど、第二波は小康状態に入ったように見えます。県では、非常事態の継続か緩和を今日発表する予定となっています。

緩和となっても、第一波から第二波の到来がすぐであったように、感染防止対策を怠れば、すぐまた拡大となる危険と隣り合わせであることを忘れてはなりません。市民の皆さまには、引き続きマスクの着用、手洗いの徹底など「新しい生活様式」を意識した生活を送っていただくようお願いいたします。

また、感染者ゼロが続く高山市ですが、いつ発生してもおかしくない状況に変わりはありません。広報等で繰り返し周知していますが、仮に感染者が発生したとしても、感染された方やその家族が悪いわけではなく、高山市民の皆さまには、いわれない差別や偏見などが助長するようなことがないよう、冷静で良識ある行動をあらためてお願いしておきます。

先週末は、安倍首相の突然の辞任表明のニュースが飛び込んでまいりました。

持病の悪化で任期途中での辞任表明となりましたが、大変な重圧の中、7年8か月にも及ぶ長期間、日本国のリーダーとして内外の諸課題に対して全力で職務にあたってこられたことに対し、衷心よりご慰労と感謝を申し上げたいと思います。

安倍首相が掲げた観光立国、外国人誘客は、高山市の海外戦略とも合致し、大きな後押しをいただいたと思っております。現在はコロナの関係で海外との渡航制限があり先行き不透明となっておりますが、コロナ終息後、観光産業は再び国の成長戦略として位置づけられ、国全体の活性化に資するものと考えております。

世界の平和と発展のため、日本の果たす役割は益々大きなものとなってきています。また私たち地方を取り巻く状況においても、人口減少、地方創生など国とともに解決にあたるべき喫緊の課題を抱えています。

9月中旬に新首相が選任されるスケジュールということですので、この国の未来を託すことができる強いリーダーの誕生を期待しつつ、その過程を注視していきたいと思っております。

まだしばらく厳しい残暑が日中は続くようですが、朝晩はすっかり涼しくなってきました。

市民の皆様には、コロナ予防に留意しつつ、風邪などひかれないう、くれぐれもご自愛ください。

※9月1日 午後1時半から開催された岐阜県新型コロナウイルス感染症対策協議会において、「第二波非常事態」は解除することを確認

令和2年9月1日

高山市長 國島芳明